



大学祭中央実行委員会のみなさん♪



▶ 巨大な門アートをはじめ、大学祭における装飾物は秀逸！



◀ 高所でのステージ設営も自分たちの手で全て行う。ステージ局に代々受け継がれる職人技が活きる



巻頭特集

大阪大学の文化と技術、みんなに集結！

いちよう祭

一日中鳴り響く音楽、情熱的なパフォーマンス、活気ある声飛び交うメインストリート……。若葉薫る5月、爽やかな風が吹き抜けるキャンパスは今春一番の熱気で包まれる。学生らが織りなす知的で愉快な文化を体感できる二日間。その名は「いちよう祭」。



成功を陰で支える「大学祭中央実行委員会」

春は「いちよう祭」、秋は「まちかね祭」と『阪大』で年に2度行われる大学祭。その学生主催の運営を担うのが「大阪大学大学祭中央実行委員会(以下、実行委員会)」だ。メンバーは74名、運営には様々な仕事があり、それに応じて総務局や広報局、ステージ局など6つの部署に分かれている。会社のように組織化された体制に感心した。もちろん、配布物や看板等も手作り。ステージ設営も足場を組んで自ら造り、照明や音響、スモークなどの演出も自分たちで行うというから、さらに驚いた。

「表は華やかですが、実際は力仕事も多くて大変。最終日の片付けまで含めると深夜1、2時を過ぎるので、みんなへ口へ口になっていきますね。ですが、その苦労があるからこそ、やり終えた時の達成感と喜びはひとしおです」と委員長の小倉さん。学祭にかける熱い想いと充実感が伝わってきた。

「統一感を出すために、『実行委員会』が手がける広報物や装飾などは毎年『デザインテーマ』を決めている。今回は、『音楽』。配布物のあちこちに描かれたヘッドホンをつけたポップなキャラクターが愛らしく、キャンパスの西側、石橋門から入ってすぐ見えるのは壮大な門アート。「実行委員会」の装飾局が春休み返上で仕上げる力作だ。ぜひ、本祭の見所のひとつし

『阪大』の最先端の技術と文化 学生の活気を体感！

て注目して欲しい。また今年度は「HANDAI KARAOKE Champ」と題し、カラオケ大会も新たに企画。事前に募った学生がそれぞれの美声を披露する。『阪大』はアカペラなどの音楽サークルも盛んで、改めて聴くとそのクオリティの高さに感動することもある。観客は当日審査に関わることもできるため、楽しみにしていたきたい。

ライブ、模擬店、研究室公開など、多様な企画を同時に楽しめるのも大学祭の醍醐味。日本屈指の規模を誇る総合大学、『大阪大学』ともなれば、企画の幅広さは格別。子どもも楽しめる「レゴ」や鉄道模型の展示、大人な雰囲気ピアノやジャズの演奏会、ベリータンなど普段馴染みのないパフォーマンスの数々。キャンパスを歩くだけでいくつもの新しい出会いがある。人気のお笑い芸人のライブをはじめ、無料のイベントも多い。

「飲食も安くて美味しく、定番から世界各地の珍しい料理まで多彩です。ぜひ味わってみてください」と広報局の川上さん。最後に委員長の小倉さんに意気込みを尋ねると、「生の『阪大』に触れる貴重な機会です。最先端の技術と学生が創造する文化を楽しんでもらいたい」と、実に清々しく応えてくれた。具体的な企

創立記念、新歓、地域交流。様々な目的を持つ祭典

もともとは「大阪大学(以下、阪大)」の創立記念日(5月1日)を祝い、新入生を歓迎する催しに端を発する「いちよう祭」。同様の目的で開催されていた競技会や園遊会などまで遡れば、1950年代以前から続く行事だ。「いちよう祭」と名付けられたのは1963年。以降、ステージイベントや模擬店、即売会、展示会など、120もの企画があり、学生に限らず、一般の子どもからお年寄りまで幅広い層の人が楽しめる大学祭となっている。オープンキャンパスのように各学部の研究室も一般公開されるため、高校生の来場も多いそうだ。

「大学の憲章に『地域に生き世界に伸びる』とあるように、『阪大』自身が大阪の地をもつべく大切にしているのが、僕たち実行委員も地元の方との交流は大事にしています。普段はすれ違うだけです。学祭期間中は模擬店などを通して自然に会話できるので嬉しい」と広報局の倉田さん。我々一般人が、『阪大』の文化に直に触れられる貴重な機会であるように、学生にとっても地域とつながる希有な時間であることが嬉しく感じた。



画内容や時間などの情報は、当日配布されるパンフレットやホームページで確認を。青々としたイチヨウ並木のもと、未来を担う輝かしい若人たちが出迎えてくれる。



【取材協力】
大阪大学大学祭中央実行委員会
「いちよう祭」
日時：5月1日(日)、2日(月)
場所：大阪大学 豊中キャンパス
HP：http://ichosai.com



屋外のステージでは多彩なパフォーマンスが一日中楽しめる。館内では各サークルの企画が満載。鉄道研究会の教室一面を使ったNゲージの展示は必見！

P.8,9「おでかけガイド」でも紹介！